

# 事業再評価—国道道路改築事業—

## 2. 国道409号 茂原一宮道路

- 1 事業箇所図
- 2 事業の目的
- 3 事業の概要
- 4 事業の進捗状況
- 5 社会経済情勢
- 6 費用対効果
- 7 コスト縮減等
- 8 対応方針案

### 1. 事業箇所図



国道409号茂原一宮道路

## 2-1. 事業の目的 ～地域高規格道路とは～



## 2-1. 事業の目的 ～地域高規格道路とは～

- 高規格幹線道路と一体となって、規格の高い幹線道路ネットワークを形成する道路
- 2車線以上を車線を確保し、自動車専用道路、もしくは、これと同等の高い規格を有し、概ね60km/h以上の走行サービスを提供
- 国土交通省により指定

高規格幹線道路

80～100km/h

地域高規格道路

概ね60km/h以上

広域的な幹線道路

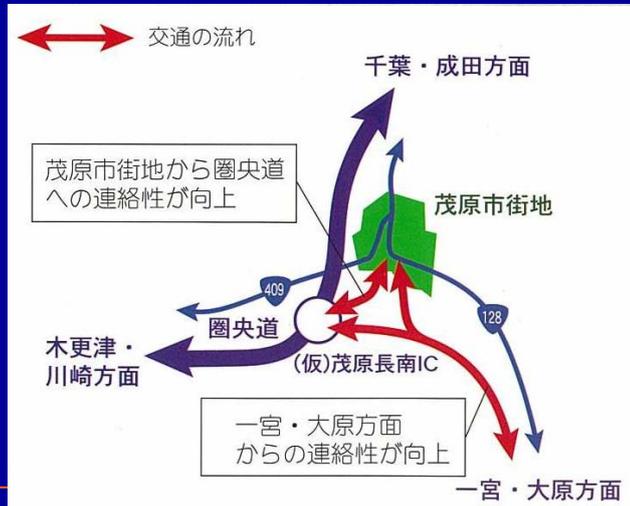
30～40km/h



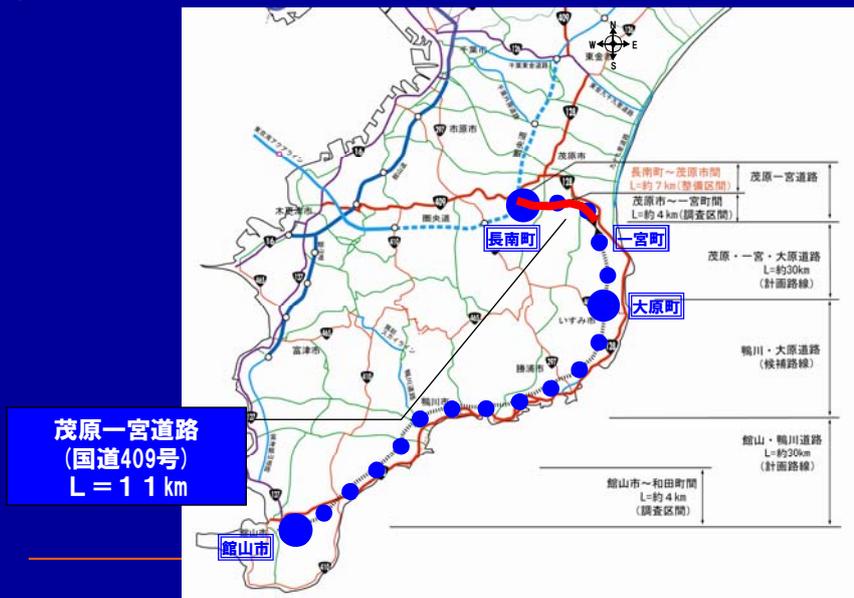


## 2-4. 事業の目的

### ■交通の機能分担



## 3. 事業の概要





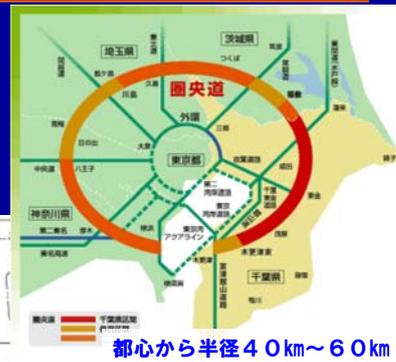
## 4. 事業の進捗状況



■ 対象区間事業費	149億円
■ 残事業費	104億円
■ 事業進捗率	30.4%
■ 用地取得率	51.2%

## 5. 社会経済情勢等

### (1) 圏央道の整備状況



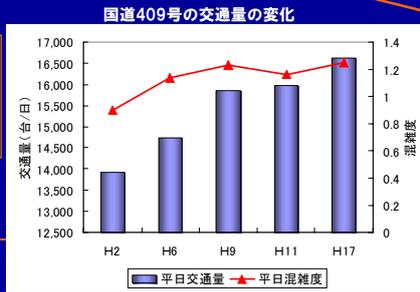
都心から半径40km~60km

## 5. 社会経済情勢等

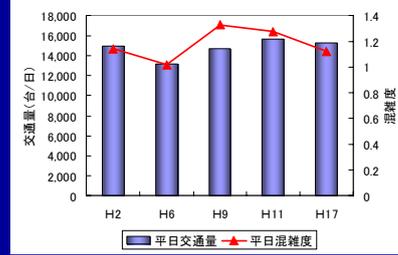
### (2) 周辺交通の状況



<国道409号:H17>  
 観測地点:茂原市上茂原168  
 交通量(平日):16,623台/日  
 大型車混入率:11.4%(12h)  
 混雑度:1.25(12h)

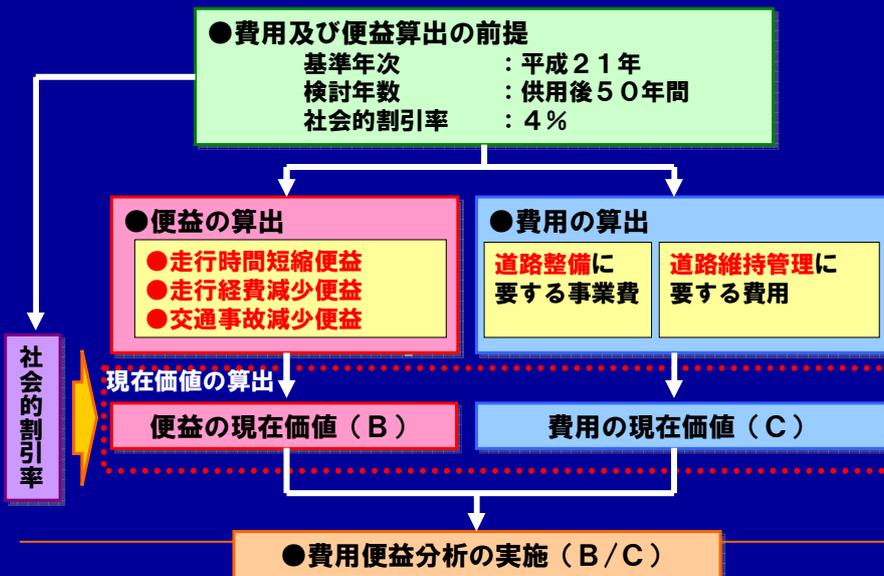


国道128号の交通量の変化



<国道128号:H17>  
 観測地点:一宮町宮原540  
 交通量(平日):15,278台/日  
 大型車混入率:8.2%(12h)  
 混雑度:1.12(12h)

## 6. 事業の投資効果(費用対効果)

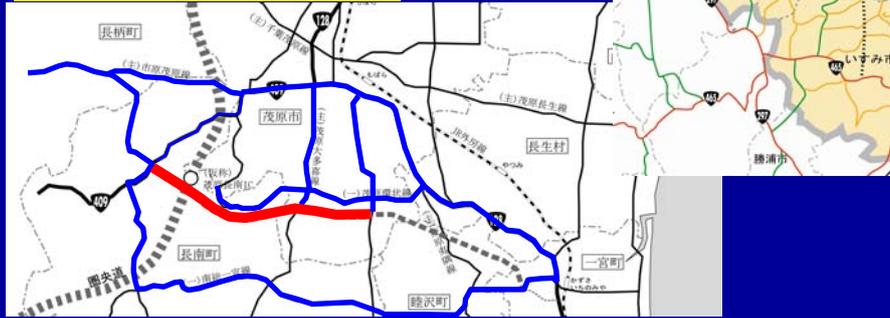


6. 事業の投資効果  
(費用対効果)

便益の範囲



主な便益のルート図

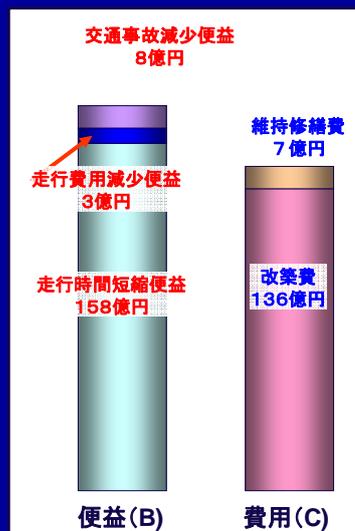


6. 事業の投資効果(費用対効果)

総便益(B) : 169億円

総費用(C) : 142億円

$B / C = 1.2$



## 7. コスト縮減等

### ■ 設計VEの活用によるコスト縮減

#### 道路幅員構成の見直し

圏央道インターチェンジとの交差形状の見直し など

### ■ 重点整備区間の設定による投資効果早期発現

- 1) 国道409号から(仮称)茂原長南IC L=約0.7km
- 2) (仮称)茂原長南ICから県道茂原大多喜線 L=約4.0km
- 3) 県道茂原大多喜線から広域農道 L=約2.5km

## 7. コスト縮減等

### ■ 交差点形状の変更



### ■ 幅員構成の変更

【変更前:幅員11m】



【変更後:幅員9.5m】



## 7. コスト縮減等

### ■ 重点整備区間の設定による投資効果早期発現

- 1) 国道409号から(仮称)茂原長南IC L=約0.7km
- 2) (仮称)茂原長南ICから県道茂原大多喜線 L=約4.0km
- 3) 県道茂原大多喜線から広域農道 L=約2.5km



## 8. 対応方針(案)

### 継続

#### 【理由】

- 地域高規格道路として、**アクアや圏央道の整備効果を外房地域へ広く波及**させ、観光産業や物流活動などあらゆる経済活動の支援には、整備が不可欠。
- 圏央道の供用開始に合わせて、国道409号から(仮称)茂原・長南インターチェンジ間約700mの供用開始を図る必要がある。